

つながりを求めて



特定非営利活動法人なら人権情報センター

奈良県磯城郡田原本町鍵301-1

TEL 0744-33-8585 FAX 0744-32-8833

E-mail info@nponara.or.jp

(担当: 西田・吉岡)

2026年3月

第147号

NPO 法人なら人権情報センターは、「誰一人取り残さない」やさしさとぬくもりのある地域社会、まちづくりをめざして、地域の人々とつながり、人権を尊重し合える事業を進めています。人権を大切にしたい気持ち、自分自身を大切にしたい気持ち、人と人とのつながりを大切にしたい気持ちを育むために、さまざまな研修や講座、学習支援、相談者に寄り添った各種相談事業をおこなってまいります。多くの町民の皆さんの、ご支援、ご参加をお願いします。

かいほう塾

中学生の学習支援を通して生きるための力を育む事業

- ・開講日：原則毎週木曜日 19時～20時30分
- ・場 所：三宅町交流まちづくりセンター MiiMo
- ・対象者：式下中学校在校生及び三宅町在住中学生

今年度のかいほう塾は、3月12日をもって閉講します。3年生も受験の真っ最中ですが、1年生の時から来てくれている生徒も途中から来てくれた生徒もがんばりましたね。すこしさびしいですが、それぞれの次のステップに向けて進むことを願っています。生徒数は3年生4人、2年生9人、1年生6人の19人でした。トライの家庭教師を含むスタッフ8人。そしてボランティアとして、式下中学校の先生も来ていただきました。2学期からのスタートでしたが、例年のように学習や交流を通して楽しくすごす



ことができました。特にスタッフとして地元の卒業生が参加していて、学習だけでなく、中学校でのことや昔話に花が咲いたことは微笑ましいものでした。また、子どもの居場所づくりのために三宅町で活動されている「あそぼう会」との交流会も実現でき、小学生、中学生、高校生のつながりが生まれました。今年度の締めくくりとして、3月12日には3年生を送る会も兼ねて閉校式を予定しています。

2025年度 三宅町地域人権学習講座

第2回報告

第2回目は11月8日に大和郡山市の額安寺周辺を歩きました。

コースは平端駅－天理軽便鉄道額田部駅跡－額田部会ヶ峰－推古天皇神社－額安寺(写真)－額田部窯(平窯)跡－鎌倉墓。県立同和問題関係史料センターの深澤吉隆さんに案内していただき、13人が参加しました。

深澤さんの丁寧な説明を聞いて、三宅町に生まれた忍性さんの生涯を辿ることができました。また、天理軽便鉄道は戦争のため無くなったこと、寺社はかつて僧侶の学問の場であり、現在のように参拝する場所でも、葬儀を行う場所でもなかったことを学ぶことができました。



第3回報告

第3回目は12月11日に MiiMo で行いました。NPO 法人サンタピアップ代表古川沙樹さんに「輝く笑顔とともに－カンボジア、子ども支援の現場から」と題し話をしていただきました。

沙樹さんが初めてカンボジアを訪れたのは栗本英世さんのスタディツアー。子どもたちの姿に衝撃を受けました。

2度目の訪問時、子どもたちのたくましさやひたむきな姿に接し、憧れへと見方が変わります。その後カンボジアが頭から離れず、1年のつもりが15年も住むことになりました。2013年にはサンタピアップを友人と設立しています。

沙樹さんはカンボジアの人たちと活動する上で大切にしていることは「友達になること」。おたがいが尊敬しあってこそ成立する。栗本さんの言葉を胸に刻み、カンボジアの子どもたちからたくさん学び、子どもたちと生きていきたいと話されました。



第4回報告

第4回目は1月15日、児童指導員の上村康弘さんに「不登校をみんなで考える」と題して講演していただきました。まず、不登校の定義として年間の欠席日数が30日以上となった状態。自身の小学校から高校までの、不登校の経験を話されながら、現在の不登校が社会の問題であること、

「不登校状態にあるその子にあったゴールを見つけることが大事」「不登校を解決するのではなく、不登校で悩む人をなくしたい」と訴えられた。

会場には小学校時代の担任の先生も参加されており、特別扱いされず、別室登校させてもらえた。そして学校に行くか、行かないかを選ばせてもらえ、安心して不登校できる環境を先生が整えてくれたという話は、会場内で共感を呼びました。今回はみんなで考えるということで、参加者にも講演の中で意見を述べてもらい、活発な人権講座になりました。



よもやま話

早いものでついこのあいだ、正月を迎えたと思ったらもう3月です。昨年の後半は北海道や東北でクマが人里や都市部まで出てきて大変だったのに、クマが冬眠に入ったとたん、今度は大雪で何人もの方が亡くなられています。奈良県の平地に住む私たちには想像できないご苦労があることに、想いを馳せておきたいと思います。

今の時代、住みにくくなってきています。世界の大きな力のある国が、「自国ファースト」になりすぎていて歯止めがきかなくなっているようです。日本もそれに追随しようとしているのでしょうか。

特に外国人に対する規制を強化しようとしています。日本では労働力不足のため、外国人労働者の需要が拡大しています。私たちのまわりでも外国人の方をよくみかけるようになりました。地域や学校、職場でともに生活していくことも増えてきます。「自国ファースト」でやっていけるわけがありません。

明治の文豪、夏目漱石の『草枕』に「智に働けば角が立つ、情に棹させば流される、意地を通せば窮屈だ、とかくこの世は住みにくい」（知識ばかりひけらかせば関係がまずくなり、情に深入りすれば自分を失い、自我を主張すれば相手にしてもらえない）というのがありました。国と国の関係も人と人の関係も同様です。他の国と争えば行きつく先は戦争です。そのことは歴史が物語っています。話し合っ、知恵を出し合っ、助け合っ豊かに生きていける社会が住みやすい社会ではないでしょうか。



あなたはひとりじゃない！ ～ 一人で悩まないで ～

人権相談

あなたの身の周りに起きている心配ごと、困りごとをどうしていますか？たとえば子どものことや家族のこと、仕事のことや将来の不安、DVなどがそうです。

友達や家族、公的機関などに相談するのは良しとして「他の人に知られたくない」、「相談するところが解らない」などと考えてじっと我慢している方、いらっしやいませんか？もしかすると解決する方法はあるかも。解決とまではいかなくても一筋の光が見えるかもしれませんし話すだけでも気持ちが楽になるかもしれません。どうか一人で抱え込まないで欲しいというのが私たちのメッセージです。まず下記までお気軽にお電話ください。また三宅町人権センター2階相談室で面接相談も行っていますのでご利用ください。(要予約)プライバシーは厳守いたします。安心してご連絡ください。

三宅町人権相談窓口

奈良県磯城郡三宅町屏風 250-21 三宅町人権センター内
電話/Fax 0745-42-2221
相談日 毎週水曜日（11時～16時・第5水曜日は除く）



答え: 下から 3行目の右から 4列目「挑」です。